



地域と結ぶ

# 順天堂大学練馬病院ニュース

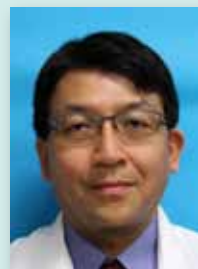


地域の皆さまの  
心と身体のオアシスで  
ありたいと願っています。  
何なりと  
ご相談ください。

# 耳鼻咽喉・頭頸部治療のご紹介

耳鼻咽喉・頭頸科 准教授 金 隆澤

このたび、順天堂大学医学部附属練馬病院 耳鼻咽喉・頭頸科に着任させていただきました。従来は「耳鼻科」と呼ばれることが多かったのですが、近年では咽頭・喉頭などの「のど」のみならず、頭の下から頸部（首）を含めて精査加療しているため、大学病院などでは「耳鼻咽喉・頭頸科」（じびいんこう・とうけいか）と標榜するのが一般的になりました。男女を問わず、幼児から老年の方まで幅広く内科的治療だけでなく外科的治療を行うことは周知の処です。また、当科では平成27年1月から新たに「睡眠時無呼吸外来」、3月からは「補聴器外来」を新設しました。身近にお困りの方がいらっしゃいましたら、お気軽に一度ご相談ください。（下図は睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP治療法の一部です）



准教授 金 隆澤



\*CPAP療法は睡眠時に常に気道に陽圧をかけることで、睡眠中の気道の閉塞を防止します。治療には、CPAP装置と専用のマスクを使用します。



# 平成27年度初期臨床研修医 30名が4月より研修開始します!

平成27年4月より全国から選抜された  
初期臨床研修医30名が、医師としての第一歩をスタートいたします。

順天堂大学練馬病院では、第8期生となります。

医師にとっては患者さんが先生です。

地域で、病院で、患者さんとともに良医を育てていきます。

皆さまには、厳しくも温かい目で育てていただけますよう

お願い申し上げます。



2年目のシニア臨床研修医が  
総合診療・性差科の外来を  
担当いたします。

\*臨床研修医の外来診療は、指導医のもとに行います。

\*臨床研修医の診察を希望されない方は、遠慮なくお申し出ください。

\*臨床研修医教育のためのご寄附にご協力をお願いいたします。詳しくは総合案内まで。

# スマートフォン対応 ホームページをリニューアルしました



このたび、当院の公式ホームページを全面改訂いたしました。

パソコンはもちろんスマートフォンにも対応し、「見やすい」「使いやすい」をコンセプトに、文字の大きさや色づかいに配慮したページ構成となっています。

これからも病院の最新情報を積極的に発信してまいります。どうぞご覧ください。

(ホームページリニューアル委員会)

## 開院10周年記念区民健康講座の開催について

平成27年6月27日（土）14時より、練馬駅北口のCOCONERIセンター内3階COCONERIホールにて「開院10周年記念区民健康講座」を、練馬区、練馬区医師会との共催にて開催する予定です。

「スポーツと健康」をテーマに、講演や、パネルディスカッションを実施する予定です。順天堂大学スポーツ健康科学部 鈴木大地教授（ソウルオリンピック金メダリスト）や、当院から整形外科・スポーツ診療科 野沢雅彦教授らが参加予定です。専門家の立場から、健康維持の為にスポーツの効用を分かり易く解説します。



## 1階エントランスホールにタリーズコーヒー出店

1号館1階エントランスホールに、現在のカフェ・モアに代わりタリーズコーヒーが出店します（6月予定）。タリーズコーヒーチェーンは、アメリカ合衆国ワシントン州シアトルを本拠地として、コーヒーの味へのこだわりが強い25歳以上に客層ターゲットを設定しています。使用するコーヒー豆は高品質のアラビカ種のみで一杯一杯手動マシンを使っているという「スペシャルティ」にこだわっていること、アイスクリームや食事メニュー・期間限定メニューが豊富であることが特徴として挙げられます。出店に伴い1階エントランスホールのベンチなども新装する予定で、より一層華やかな印象となるでしょう。



[完成予想図]

# 災害時 机上訓練及び 炊出し訓練報告

当院は、災害拠点病院として災害に備え、毎年様々な訓練を行っております。

昨年は東京消防庁と光が丘消防署の合同で大規模な訓練を行いました。今年には災害時に院内の司令塔となる災害対策本部の設置と初期対応に重点を置いた机上訓練を2月に行いました。

今回実施した机上訓練は、**コントローラー**と呼ばれる進行役が時々刻々と発生する情報を**プレイヤー**と呼ばれる参加者に提供します。**プレイヤー**は厳しい時間的制約の中で次々と与えられる情報を整理・判断しながら与えられた役目を遂行していき、臨機応変な危機対応能力を鍛えます。この訓練を繰り返しながら院内の災害対応マニュアルを見直します。

また、災害時には被災傷病者の手当だけでなく、病院スタッフ自身の食事も作らなければなりません。そのための炊出し訓練も行いました。

「備えあれば憂いなし」との言葉があるように、災害拠点病院の責務を果たすべく、今後も病院を挙げて災害への備えをしてまいります。（総務課 安部 健）



災害対策本部机上訓練前の説明の様子



訓練中の様子



保存食のけんちん汁を大鍋で加熱



一箱で50食分のご飯が熱湯15分で完成

# 事業所内保育所「ぴのぴの」 病児・病後児保育室「みつばちねりま」開所式

当院では、当院職員や地域の皆さまの子育てと仕事の両立を支援するため、平成27年4月より事業所内保育所「ぴのぴの」と、病児・病後児保育室「みつばちねりま」を開設いたします。教職員や地域の皆さまが安心できる環境で、多くのお子さまの笑顔にあふれた施設を目指してまいります。

(総務課 戸崎 雄太)

\*ご利用に関するお問い合わせは、  
順天堂大学医学部附属練馬病院 総務課  
03-5923-3222 戸崎までお願いします。

## 保育室内の様子



## エントランス通路・入口



# 二人主治医制

当院はかかりつけ医の先生と連携して二人主治医体制をとっています。

かかりつけ医  
(診療所・クリニック)



普段のヘルス・  
チェックや投薬

専門的・高度医療  
入院治療が必要



初期医療  
症状が安定

順天堂大学練馬病院  
(地域医療支援病院)



専門的なチェック  
や検査、緊急治療

「かかりつけ医」をお持ちください。

- ・ 安定した患者さんの普段のチェックやお薬は、かかりつけ医でお願いいたします。
- ・ 安定されていない方、重症の方、緊急治療の必要な方のケアを優先いたします。
- ・ 専門的な診断・診療により、安定された方は、かかりつけ医での治療の継続をお願いいたします。
- ・ なお、当院の受診が必要な場合は診療情報提供書（紹介状）をご持参ください。

